

～ 第50回 ～

景気動向調査結果

— 令和 5年10月分 —

[調査概要]

1 調査対象期間 令和5年7月～令和5年9月

2 調査対象企業数(H27～)

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしております。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

令和5年10月分(令和5年7~9月対象)の景気動向

1 総論

売上は卸・小売業で大きく回復・増加しましたが、建設業と製造業が減少となり、全体では前回からはやや減少の結果となりました。今後の見込みについては業種により差がみられます。

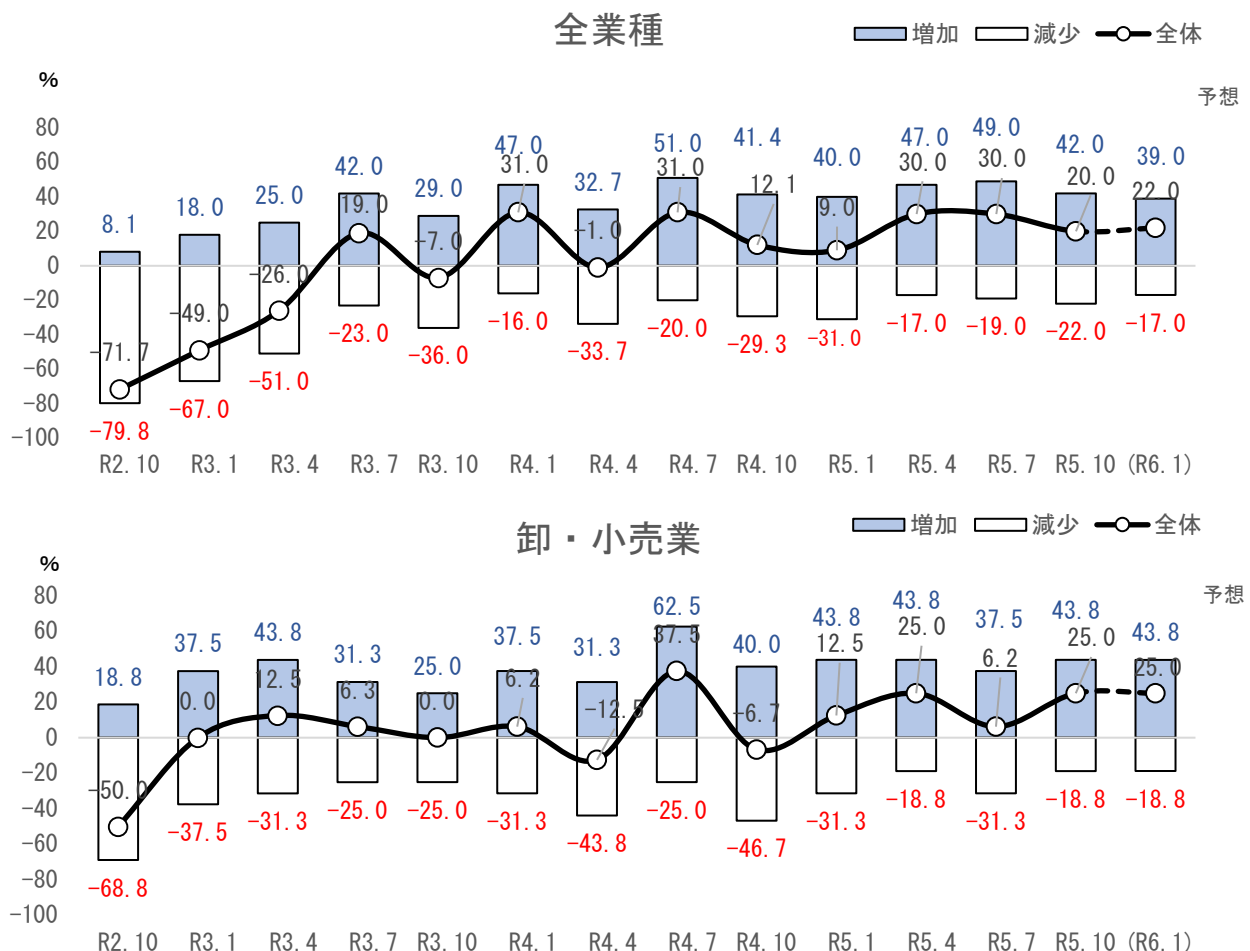
経営課題の中では原材料や諸経費の高騰、人手不足・技術不足がいずれの設問においても多く挙げられており、企業への影響の大きさが窺えます。一方で今後に向けては人材育成や販路開拓を中心に前向きな方針が掲げられています。

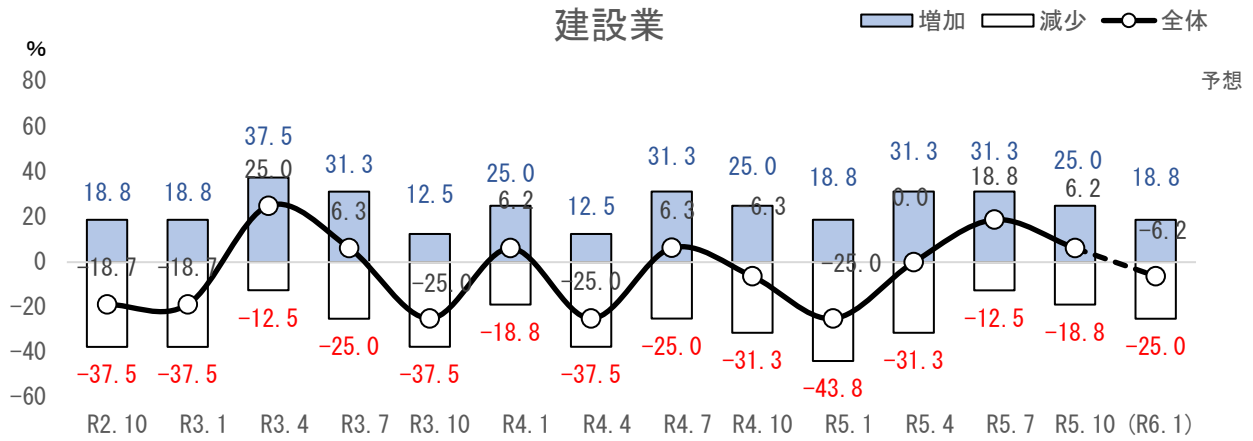
2 売上

全業種では20ポイントと過去2回の調査からはやや減少しました。卸・小売は大幅に増加して25ポイントとなり、また宿泊・飲食業は75ポイントと高水準を維持しています。一方で建設業や製造業では減少しており、業種による差が顕著となっています。

物価高に対応し価格転嫁ができ、売上高は上昇したが販売数や来客数が減少した、という状況が窺えます。また製造業ではいくつかの製品で生産調整をしているとの声も聞かれます。

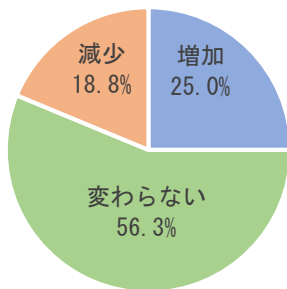
■ 最近3か月、前年同期と比べて及び今後3か月の予想



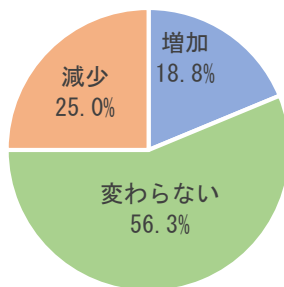


(建設業)

手持現場数

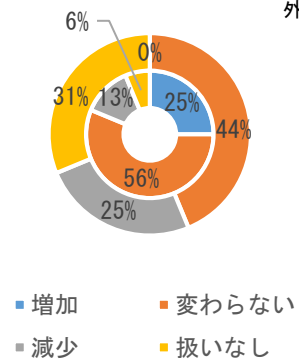


受注総額

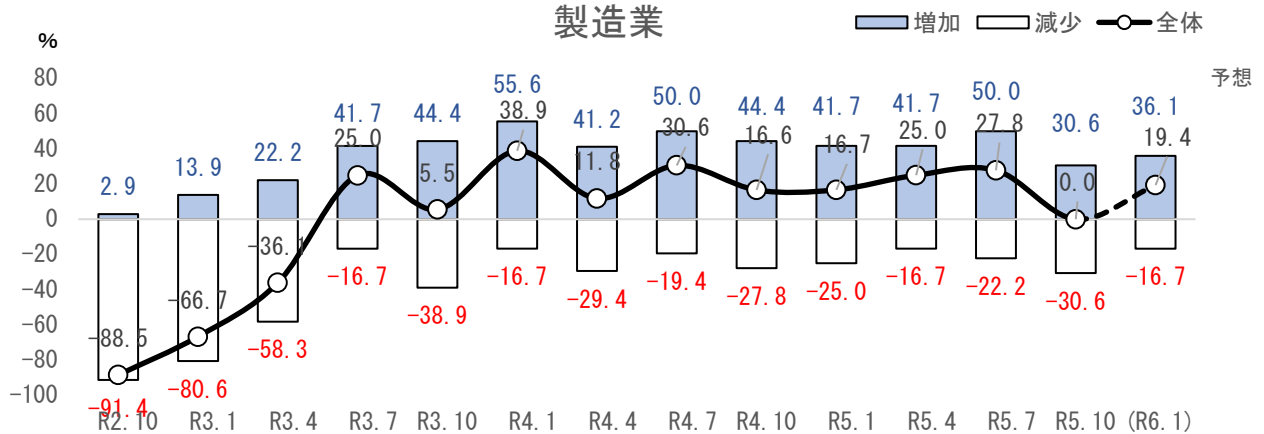


官民別

内円: 民間
外円: 公共

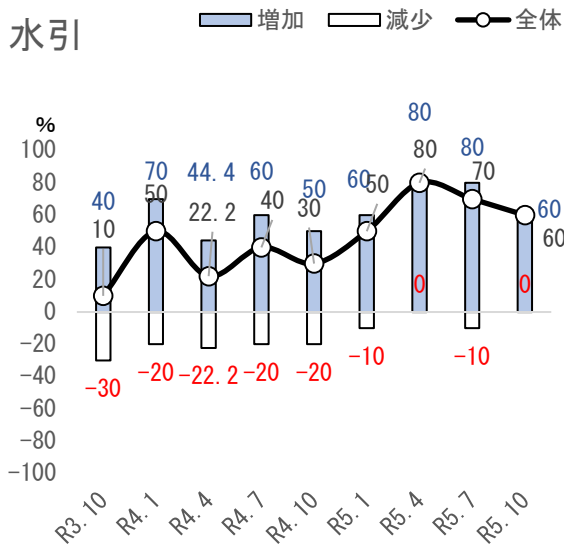


製造業

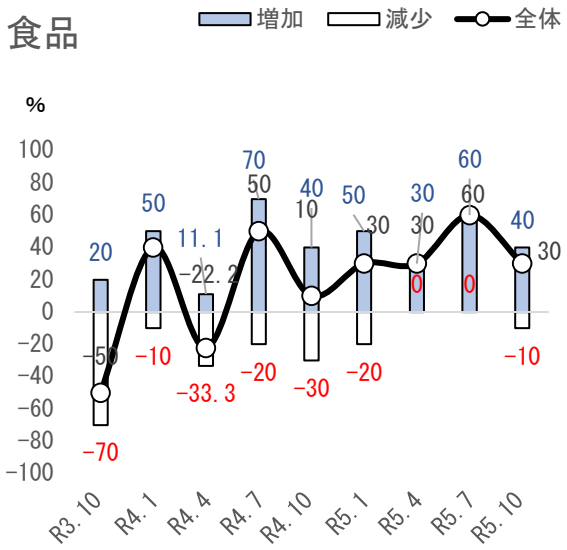


(伝統産業)

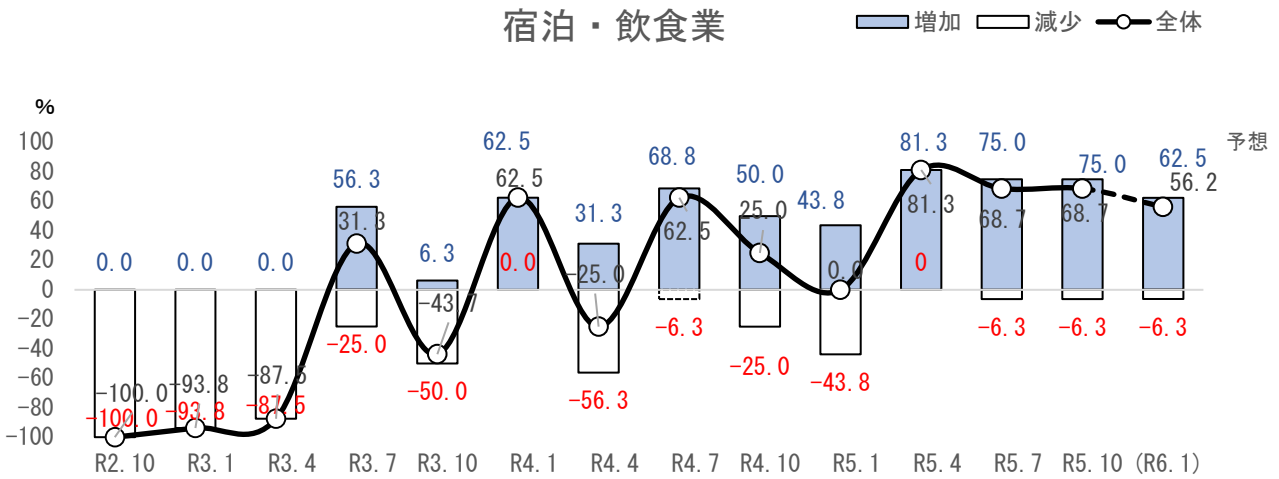
水引



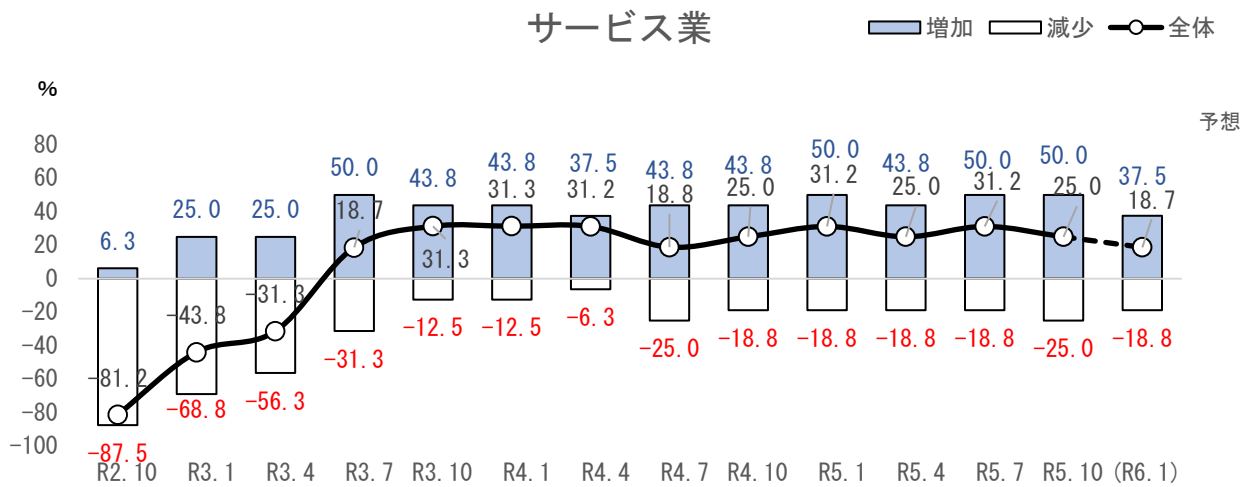
食品



宿泊・飲食業



サービス業



【主なコメント】

◆増加要因

物価高で売上総額は上がっているが、購入点数や来客数は減少。(卸小売)
売上は2割増。物価高騰による価格転嫁。セール、ツアー、撮影ツアーの開催。(卸小売)
受注は引き続き好調だが、大工不足により受注に制限あり。(建設)
航空機防衛関係が上がっている。(製造)
販売価格上昇に伴い、販売数(消費量)が下がった。(製造)
コロナが落ち着き、旅費や食費にお金を使う人が増えてきた。(製造)
外国人客増加。(宿泊飲食)
宿泊客増加。(宿泊飲食)
稀にキャンセルがあるが、コロナ5類以降は宴会利用が増えてきている。(宿泊飲食)
人流の活発化、ビジネスの出張増加。(サービス)

◆減少要因

人口減、消費マインドの後退等あり、平日の売上が減少。(卸小売)
物価高騰による投資控え。(建設)
現在の現場は公共工事1件のみ。来年6月頃まで。春先くらいから2~3現場取る予定。(建設)
元請けの仕事が遅れ工期が延びている。(建設)
半導体が落ちている。(製造)
工作機械関連は生産調整に入っている。(製造)
卵不足、人手不足、買い控えによる生産調整。(製造)
中国の景気が減少し量が減っている、中国はロット数が大きい。(製造)
コロナによる影響の減少。(宿泊飲食)

◆今後3ヶ月予想

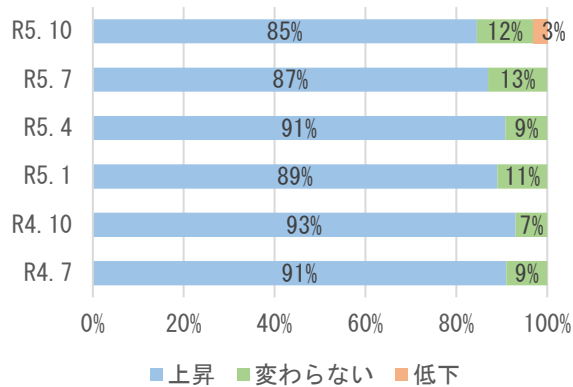
官庁からの受注量が減っている。(建設)
航空機防衛関係が上がっている。(製造)
自動車関係(ホンダ)の受注が戻ってくる予定。(製造)
秋の山行き、忘年会のシーズンに期待。(宿泊飲食)
付加価値サービスの開始と新商品販売により好転。(サービス)
予約の状況が悪い。(サービス)

3 コスト状況

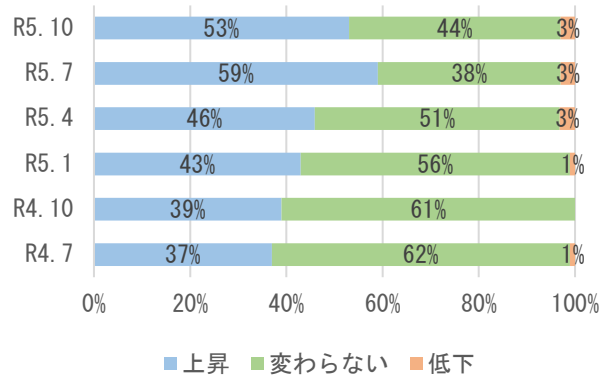
原材料の食品や資材・紙など、その他の経費の水道光熱費・送料・包装資材などの上昇の割合は引き続き高くなっています。またベースアップの他、物価高への対応のための賃上げ、人手不足解消のための雇用などを各企業で行っており、人件費の上昇も半数を超えています。一方で全体的にはいずれも上昇回答が前回より減っている状況です。

—前年同期と比べて—(全業種)

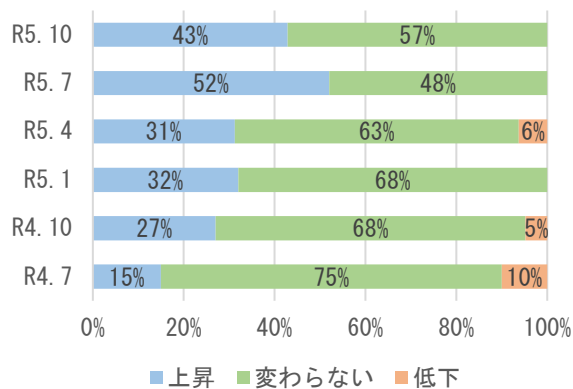
原材料



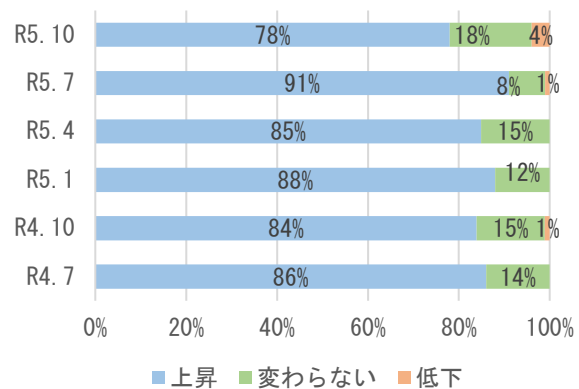
人件費



下請単価



その他経費



【主なコメント】

◆原材料

- 円安からくる値上げ。(卸小売)
- 食品原材料原価の高止まり。(卸小売)
- 資材、建材、金物材、全般的に値上がり。(建設)
- 樹脂関連。(建設)
- 輸入関連材料はすべて上昇、特に紙。(製造)
- お米代が増加。(製造)
- 野菜豚肉ほか食材が全般的に高騰。(宿泊飲食)
- 合成紙の高騰。(サービス)

◆人件費

- 最低賃金に合わせて上昇。(卸小売・製造・宿泊飲食・サービス)
- 給与水準改善の為。(卸小売)
- ベースアップの為。(製造)
- 物価高への対応の為上昇。(製造)
- 人手不足解消のための雇用。(サービス)
- 昇給、人材の増員。(サービス)

◆下請け単価

値上げ要請。(製造)

内職確保のため。(製造)

◆その他経費

全ての物価上昇。(卸小売)

インボイス対応、IT 導入補助金も活用。(卸小売)

送料の上昇。(建設)

包装等の資材の高騰。(製造)

水道光熱費などのエネルギーコストの上昇。(製造)

クリーニング代。(宿泊飲食)

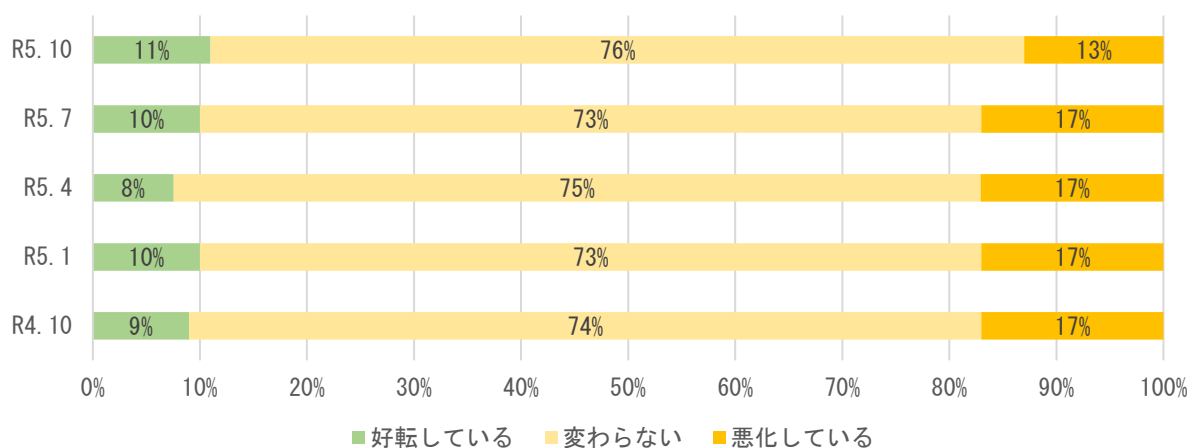
シャンプー、リンスの価格上昇。(宿泊飲食)

4 資金繰り

大きな割合の変化はありませんが、変わらないが 76%と少し増加し、同時に悪化しているが少し減少しています。

—前年同期と比べて—(全業種)

資金繰りの状況



【主なコメント】

コロナ資金に手を付けていなかったが、使わないと資金が回らなくなってきた。(宿泊飲食)

再生中。(サービス)

悪化しないように踏ん張っている。(サービス)

借入金が増えているので、好転している。(サービス)

5 経営課題

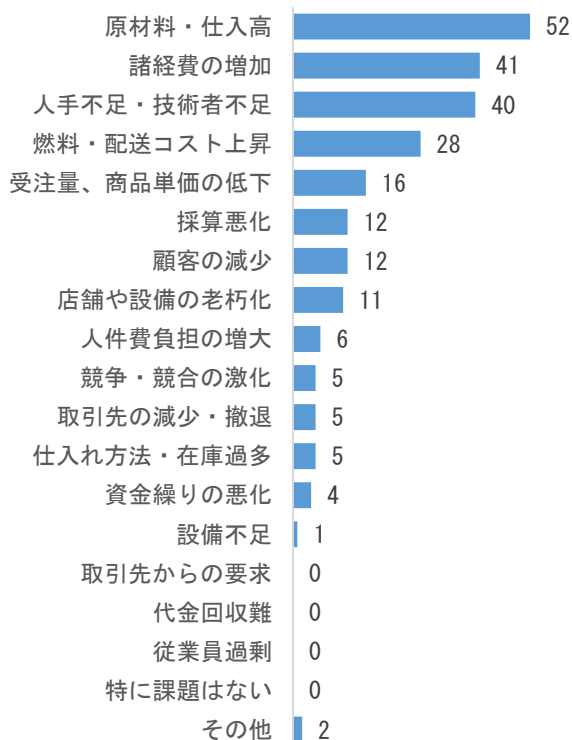
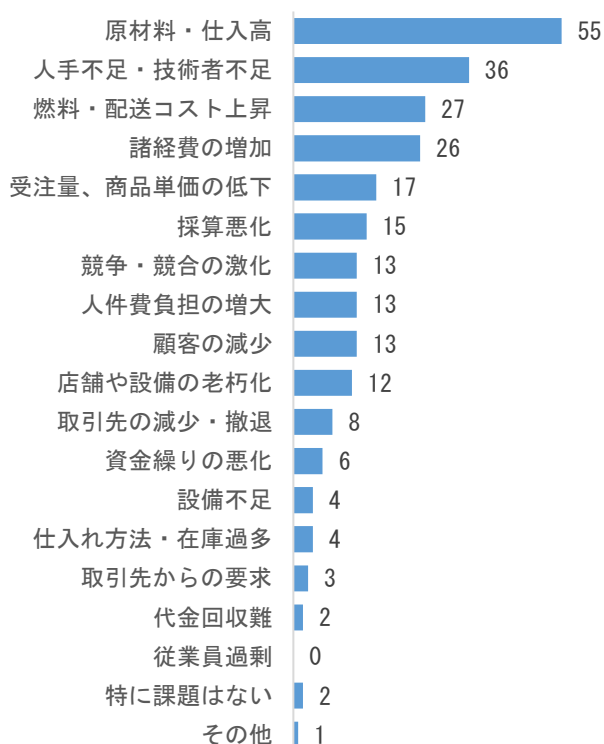
半数を超える原材料・仕入高に続き人手不足・技術者不足は多くの企業での課題となっています。物価高の影響により燃料・配送コストの上昇や諸経費の増加も多く挙げられています。コスト高による採算悪化と人手不足に対する懸念が多く目立っています。

(全業種)

【 R5.10 】

※3つまでの複数回答

【 R5.7 】



【主なコメント】

技術者不足によりこれ以上の受注はお断りせざるを得ない。(製造)
 原材料費高騰により利幅少ない。(製造)
 社内コストの見直しも限界になっている。(製造)
 ゼロゼロ融資の返済開始。(製造)
 単価の引き上げはすぐにはできないため、コスト高により採算が悪化している。(製造)
 人手不足により、年末年始の繁忙期に人員が足りない恐れがある。(宿泊飲食)
 同業他社の出店。(宿泊飲食)
 予約が増えても人手不足により全ての予約を受けられない。(宿泊飲食)
 人材不足。求人に対して応募が少ない。(サービス)

6 長引く経営課題とその対応について

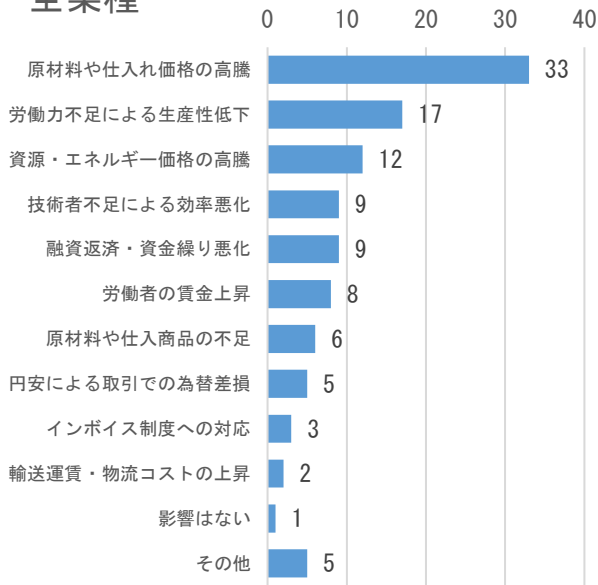
新型コロナウイルス感染症を皮切りとした環境変化の中で、長期化した経営課題が多くあります。その中で最も影響が大きいと感じていることとして挙げられたものでは、原材料や仕入れ価格の高騰の回答が最多で、続いて労働力不足による生産性低下、資源・エネルギー価格の高騰となりました。

その課題への対応としては、販売価格への転嫁が半数近くとなっています。自助努力による経費削減や労働環境改善・採用の見直しなど、多くの企業での経営努力が現れています。

停滞から成長への転換局面でこれから目指す方向性や力を入れていくことでは、人材育成、販路開拓、商品・サービス開発など、将来に向けた積極的な経営方針が多く掲げられています。

(1) 長期化する経営課題の中で、最も影響が大きいこと

全業種



卸・小売業



建設業



製造業



宿泊・飲食業

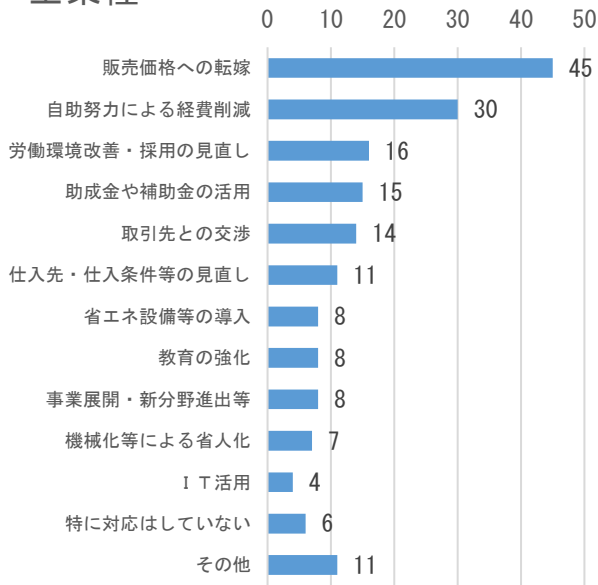


サービス業



(2)その経営課題に対して、自社でとっている対応

全業種



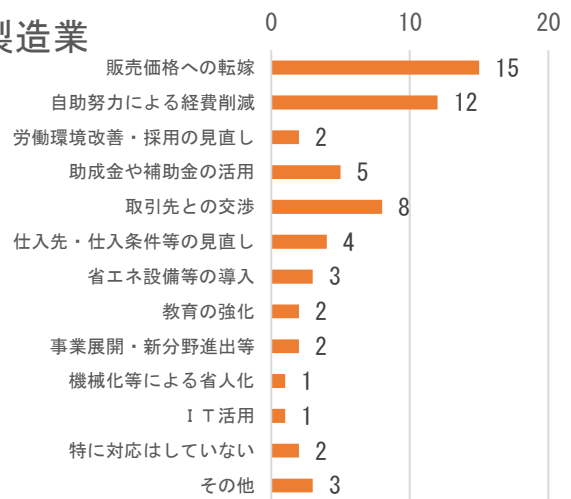
卸・小売業



建設業



製造業



宿泊・飲食業

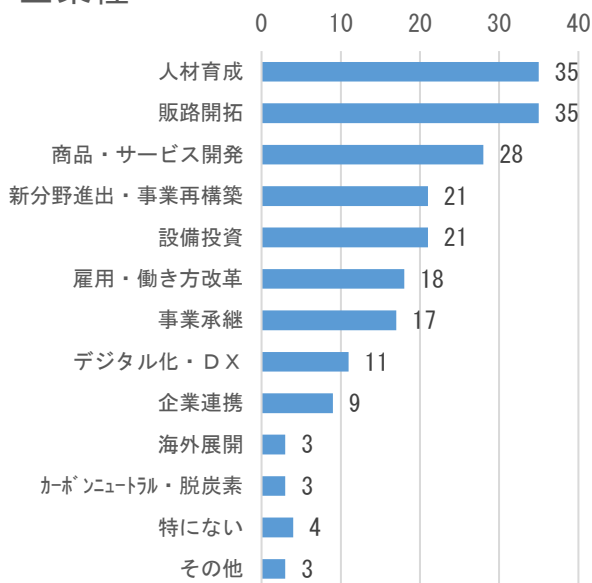


サービス業



(3) 停滞から成長への転換局面で自社が成長していくために、目指す方向性や力を入れていくこと

全業種



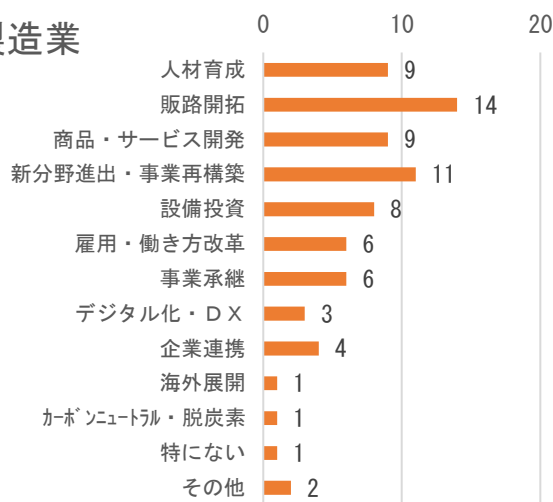
卸・小売業



建設業



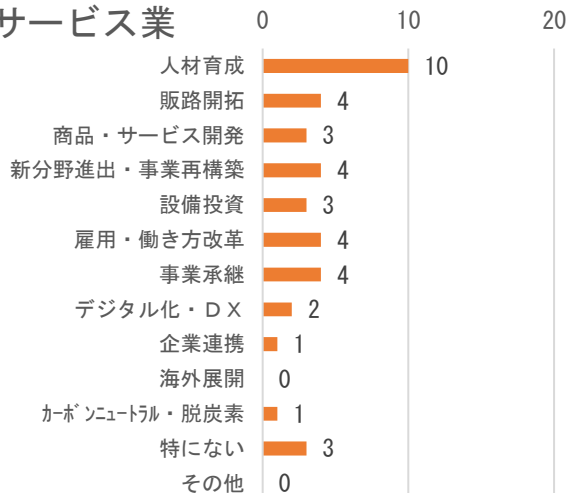
製造業



宿泊・飲食業



サービス業



【主なコメント】

◆長期化課題で最も影響が大きいもの(「その他」の内容)

消費者の購買意欲減退。(卸小売)

店舗や設備の老朽化。(製造)

◆同課題に対する自社の対応(「その他」の内容)

販売戦略見直し。(卸小売)

業務効率化生産性向上への取り組み。(製造)

資金繰り対策。(製造)

定期的な従業員の募集。(宿泊飲食)

◆目指す方向性や力を入れていくこと(「その他」の内容)

卸売メインから直売部門を強化し、売上 UP を図りたいと考えている。(製造)

機械導入による省人化省力化生産性向上。(製造)

【その他】

行政主導による経済対策もあるが、経済の状況に詳しい地元密着型の大企業の見解アイデアを取り入れれば、よりの射たものになるのでは。(卸小売)

政府が賃金アップを掲げているが、なかなかできない現状が切ない。また、雇用条件を良くして求人をかけてもなかなか来ない。(建設)

設備投資に対する優遇税制や補助金の創設。(製造)

若年層の雇用が出来ていないため、営業職などの人材育成ができずにいる。(製造)

賃金が上昇していることで、いわゆる「130 万円の壁」があるため、労働時間の短縮により生産性がかえって低下する。対策の政策を早く実行するよう要望してほしい。(製造)

人材不足を補うための機械化をする資金が欲しい。(製造)

リニア時代に向けて駅前開発や人口増加につながる取り組みをお願いしたい。民間を巻き込んだ取り組みをしないと開発費ばかり膨れ上がる。(宿泊飲食)